

3. がんは早期発見がカギ！ 予防できるけれど完全には防げない。

- ・がんは、禁煙や生活習慣の改善などによって、「なりにくくする」ことはできますが、がんを「ならないようにする」ことはできません。
- ・多くのがんは早期のうちに発見すれば9割は完治させることができますが、初期のがんは自覚症状がないため、早期に発見するには、定期的ながん検診を受けることが大切です。すでに症状がある場合は、すぐに医療機関を受診しましょう。



町ホームページ
「がん検診の詳細
について」

4. 乳がん月間について

～乳がんは自分で見つけることのできる数少ないがんです～

毎年10月は「乳がん月間」です。乳がんの早期発見のシンボルである「ピンクリボン」にちなみ、乳がんについての啓発キャンペーンが世界規模で多く行われます。

雄武町では次の施設でパネル展を開催します。ぜひお立ち寄りください。

- ・オホーツク温泉ホテル日の出岬 9月30日(土)～10月9日(月)
- ・雄武町図書館「雄図ぴあ」 9月30日(土)～10月8日(日)



健康推進課保健係

Kids わんぱくキッズ (若草保育所) ～おおきくなったら～



さとう
しゅんくん

勇者



りゅうの
えいとくん

パパと一緒にホタテを獲る人



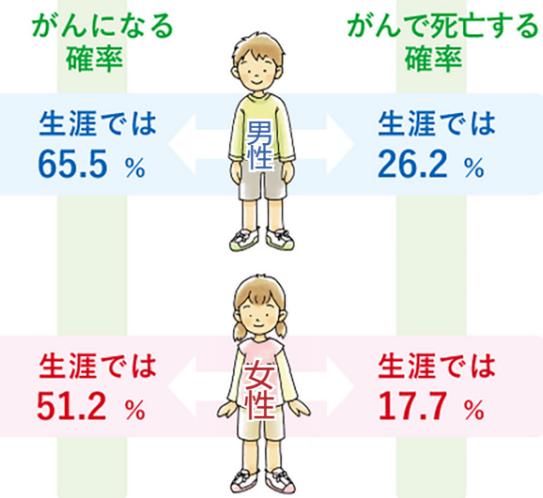
Everyone's dispensary

みんなの保健室

“がん” という病気について

1. 誰でもなる可能性がある

今や日本人の2人に1人が何らかのがんにかかり、3人に1人ががんで亡くなると言われています。がんはすべての人にとって身近な病気です。



2. がんの主な要因

がんには原因が分かっていないものも多く、また、次の要因のうち、一つだけが原因とは限りません。いくつかの原因が重なりあったときに、発症の可能性が高まります。

- 加齢** 健康な人でも毎日がん細胞が発生していますが、免疫が働いてがん細胞を死滅させています。しかし、この免疫が加齢などにより低下すると、がん細胞を死滅させることが難しくなります。
- 環境要因** 男性のがんの43%、女性のがんの25%は生活習慣（喫煙や食習慣等）や感染（ピロリ菌や肝炎ウイルス等）が要因と考えられています。
- 遺伝要因** 生まれ持った遺伝子の変化が関与している場合があります。がん全体の5～10%程度と言われています。

がん家系？

血縁者（親・兄弟姉妹・親戚）の中でがんを発症した人が多い場合には、がん家系ということがあります。がんは「遺伝」によってのみ発症する訳ではなく、家族内で同じような食生活をしている、喫煙の影響を家族も受けているなど、家族内で共有している「環境要因」によっても、発症している可能性があることが解明されてきています。

高血圧や糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病も「加齢」や「遺伝」、「環境」などの要因が重なりあったときに発症のリスクが高まると言われています。

